

# ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2025年2月17日発行【再刊第31号】

## 今号の話題

- 氷濤まつり今年も開幕  
幻想的な氷の世界 人気集める
- チップ彩り手まり寿司販売  
日本橋三越本店 北海道物産展
- にぎわいフェスタ開催  
綱引き、しばれ焼き、Fガール

## 支笏湖畔に今年も氷の世界

厚い氷でブルー際立つ大小30基 24日まで



山線鉄橋や支笏湖、恵庭岳を一望できる展望台からの風景

「千歳・支笏湖水濤まつり」氷の美術館・支笏湖ブルーの世界」が2月1日に支笏湖温泉を会場に開幕しました。主催する国立公園支笏湖運営協議会（事務局・観光連盟）の会場制作管理部が制作した約30基の氷像が並ぶ氷の会場は、連日多くの来場者でにぎわいを見せています。今年も氷像制作のプ

約3カ月かけて作り上げた氷の会場は、入り口を抜けると高さ13層のシンボルタワーが来場者を迎えます。大空にそびえるタワーは絶好の写真スポットの一つです。これまで会場の端に設けてきた展望台は、今年初めて中心に造りま



ライトアップされたまつり会場

ロセスで降雪がなく、雪の混じらない透き通った氷ができました。昼間は独特の美しい「支笏湖ブルー」で、夜間は色とりどりにライトアップされた幻想的な表情が来場者を迎えています。開催期間は24日まで。

した。会場内や支笏湖、恵庭岳などの周辺の山々を360度一望できる人気スポットとなっています。松葉の緑で青々とした苔を表現した「苔の洞門」が今年も登場しました。氷濤神社や、高さ9層、幅40層の壮大な氷壁「アイスウォール」、白樺の池といったスポットも人気を集めています。特にアイスウォールは光を透かすことで支笏湖ブルーの美しさをより楽しめる氷像で、多くの人が記念撮影する姿がみら



温かいスープや飲み物で暖をとれるアイスキッチン

苔の美しい回廊をイメージした「苔の洞門」



れました。

寒い中で暖をとれるよう、広さを拡大した「アイスキッチン」ではコンソメスープやコーンポタージュ、コーヒーなどの温かい飲み物等を提供しています。焚火ブースでも、会場で販売しているマシユマロを焼いて食べる趣向が人気を集めています。

今年のまつりは暖気の影響で氷像が融け、会期中で中止せざるをえませんでしたが、今年は暖気の到来に対応できるよう、厚い氷をつくることを意識して作業を進めました。ポンプも昨年までの1台から2台に増強するなど、設備を

強化して制作に臨みました。

会期は2月24日まで。開場時間は午前10時から午後8時。ライトアップは午後4時半から。入場料は中学生以上1000円、小学生以下無料。期間中土日祝日は、個人・団体双方に向けて、有料で地元ガイドによる解説付き観覧ツアーも実施します。

冬ならではの寒気と、地元で受け継がれ、進化を積み重ねて来た制作技術が調和した芸術をお楽しみください。



林立する氷柱が独特で幻想的な風景を生み出しています

## 日本橋三越本店

### 北海道物産展に出展

#### 支笏湖チップ彩り手まり寿司

日本橋三越本店で1月8日〜20日に開催された北海道物産展に、観光連盟も参加しました。

「PLAY HOKKAIDO!」北海道のご当地あれこれ」をテーマに、

北海道の豊かな食文化や特産品、地元で愛される味覚などを発信する催しです。連盟は「支笏湖チップ彩り手まり寿司」を各日50点限定で販売し、注目を集めました。

物産展では今年は北海道の天然ブランドサーモンと養殖サーモンそれぞれの魅力を紹介。2024年6月に日高山脈襟裳十勝国立公園が新たに指定されたことから、十勝の道産小麦を使用したパンや地元のスイーツなども出品して、北海道産品の



魅力を伝える企画となりました。

観光連盟としてもブースを設けて手まり寿司の販売に力を入れました。支笏湖チップとサーモン、いくらの味くらべを楽しめる充実の内容で、海鮮鮭処北々亭千歳店の協力を得て企画したものです。知名度の面で課題も見受けられました。知客が、たくさんの女性のお客様に「かわいい」との声をいただきました。今後も物産展への出展でさらなる知名度向上も見込めると、関係者一同手ごたえを感じました。

2024ニューサンロードにぎ

わいフェスタが2月1日、ニューサンロード内で開催されました。寒中綱引き大会や千産千唱アイドル「小娘（シャオニヤン）」のライブのほか、プロ野球日本ハムの公式チアダンスチーム「ファイターズガール」の3人がダンスで

寒中綱引き大会、Fガール登場

にぎわいフェスタ開催

ニューサンロード商店街

千歳神社と参道に灯ともる

千歳ろうさん祭初開催

千歳神社で雪明りを楽しみながら郷土の歴史を学ぶ「千歳ろうさん祭」が2月1日、同神社境内で開催されました。千歳トラベル実行委員会が主催し、ライトアップされた神社と境内の雰囲気をも多くの市民が楽しみました。

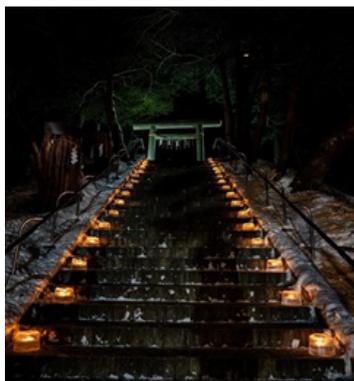
神社の裏参道には「ろうさん」

会場を盛り上げました。

ニューサンロード商店街の主催。特設会場ではドラム缶を改造した器具でジンギスカンを焼いて味わう「しばれ焼き」を来場者が楽しんだほか、ステージでは千歳音頭保存会や小娘が出演。ファイターズガールも「ファイターズ讃歌」や「キツネダンス」などを披露し、一緒に踊る子供たちの姿も見られました。

綱引き大会には11組が出場。雪

という地名が残され、石碑も建立されています。アイヌ語で「こより川や海に抜けていくところ」を意味しており、新たな文化を拓いていく願いを込めた催



ろうそくで照らされた階段



力自慢のチームが熱戦を繰り広げた綱引き大会

が積もり、部分的に凍結した路上で、足場の悪い中でも熱戦を展開。猛者たちが力強く綱を握り、掛け



ファイターズガールの3人も会場を盛り上げました

声を響かせながら試合に臨む姿にギャラリーの声援が飛びました。優勝には千歳市消防Aチームが輝き、2年ぶりの首位を奪還しました。

しです。

当日は社殿がライトアップされたほか、参道でもキャンドルが灯され、幻想的な雰囲気にも包まれました。穏やかな光に照らされた参

道は日中とは違う、温かさや厳かさの入り混じった空間となり、神社の持つ不思議な魅力を引き立てました。

神職による神社の成り立ちと千歳の歴史についての解説が行われたほか、祭りに合わせた特別な御

朱印が授けられました。焼き鳥やタコスなどのキッチンカーも出店するなど、文字通りのお祭りのような特別な催しとなりました。

初詣や夏の例大祭などで馴染みのある神社も、夜間の来訪は普段とは違う趣があります。インターネット上では「パワースポット」と紹介する記述もあり観光客らしき人の姿も。千歳を見守り続けて来た神社で、清新な気持ちになっ

## ホルメンコーレンマーチ

### 雪不足が影響 今年は中止

2月11日予定

千歳市スポーツ協会は1月末、記録的な雪不足のため、2月11日に予定していた第49回千歳ホルメンコーレンマーチを中止しました。

歩くスキーコース上、千歳雪合戦、小学生雪上5色綱引きのいずれの会場も、積雪が例年の半分以下という状況で、会場造成をできないことを受けた判断です。また大会を実施できるほどの積雪を、今後見込めないことなども勘案した決定となりました。

1977年の「歩くスキーの集い」から始まり、ノルウェー王国のホルメンコーレンスキー大会にちなみ、81年から同名となった歴史ある大会です。観光連盟も後援しており、来年は冬の競技を満喫できるように、一定の降雪を願うばかりです。

## イベント情報

▼千歳支笏湖水濤まつり（氷の美術館（2025年2月1日から同24日、支笏湖園地みなもあパーク、旧第5駐車場）時間は午前10時から午後8時。ライトアップは午後4時半からです。今年も大小30基の氷像群が、昼間の支笏湖ブルー、夜間のライトアップされた景色で来場者を魅了します。入場料は、中学生以上1000円、小学生以下無料。

▼ノーザンホースパークマラソン（5月18日、苫小牧・ノーザンホースパーク内など）同実行委主催、観光連盟など後援。苫小牧市、千歳市、安平町をまたぐコースのハーフマラソン、ノーザンファーム坂路（競走馬調教場）を含むコースの7キロメートルトレイルラン、パーク内のペアランを実施。参加は有料

で、エントリーは3月31日まで。各種目には定員があります。

▼第45回千歳JAL国際マラソン6月1日、青葉公園など）千歳市スポーツ協会、日本航空、北海道新聞社主催。観光連盟など後援。青葉公園内を起点に、新緑の林道、千歳川沿い、支笏洞爺国立公園内の豊かな自然の中でランを楽しめます。フル、ハーフ、3キロの各種目を展開。参加は有料で、エントリーは3月31日まで。各種目には定員があります。

▼SORAON2025（6月21日、日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）同実行委員会、千歳商工会議所青年部主催。出演アーティスト第1弾として氣志團、ラブサイケデリコ、梅田サイファー、米良美一&井上あずみ、千歳ジュニアオーケストラなどが発表されました。チケットは前売り入場券6700円など。大学生、専門学校生以下は無料。

## 編集後記

水そのものは透明なのに、なぜ「水色」と言うのか。青く見えるには良好な水質であるという条件があるのだと言います。なんでも光が水を透過するとき、赤い光は吸収され、青い光が散乱するからとのこと。水が厚い（深い）とそれだけ青が濃くなるのだそうです。

1980年代半ば、氷濤まつりの会場では来場者がスタッフに「なぜ氷が青いんですか?」「着色料でも使っているの?」と尋ねられたとのこと。支笏湖ブルーと呼ばれる独特の淡い青は、支笏湖の良質な湖水が生み出す氷濤まつりの大きな魅力です。

今年も青の美しい氷像ができました。最終日は24日。千歳・支笏湖水濤まつりにぜひお越しください。